

地域医療支援センターだより

ご挨拶

公立能登総合病院 院長
地域医療支援センター長
橋本 正明



公立能登総合病院の開設71年目となる本年度より院長を拝命いたしました。おりしも本年度の診療報酬改定より「社会保障・税の一体改革」が医療制度改革を含めて本格的に始まりつつあり、医療、介護を含め来るべき「2025年問題」に対して変革の時代が始まろうとしています。そのような時代の流れや風景の変化に合わせ、病院の形や地域全体の医療連携体制にわたる多少の身繕いが、当院にも求められている様です。

このような中で、当院が能登半島という地域の中で果たすべき使命と役割をより明確にし、未来の地域医療と健康を含めた安心・安全のために職員一丸となって貢献、実現していきたいと考えています。

つきましては、能登の医療レベルの発展を目指した当院の「未来へ向けた変化」に対して、皆様の深いご理解とご支援を心からお願い申し上げます。

新規採用職員研修

今年度新規採用職員に対し、各部署よりそれぞれの役割機能や紹介が行なわれました。

地域医療支援センターも

テーマ「**地域医療連携について**」 説明いたしました。

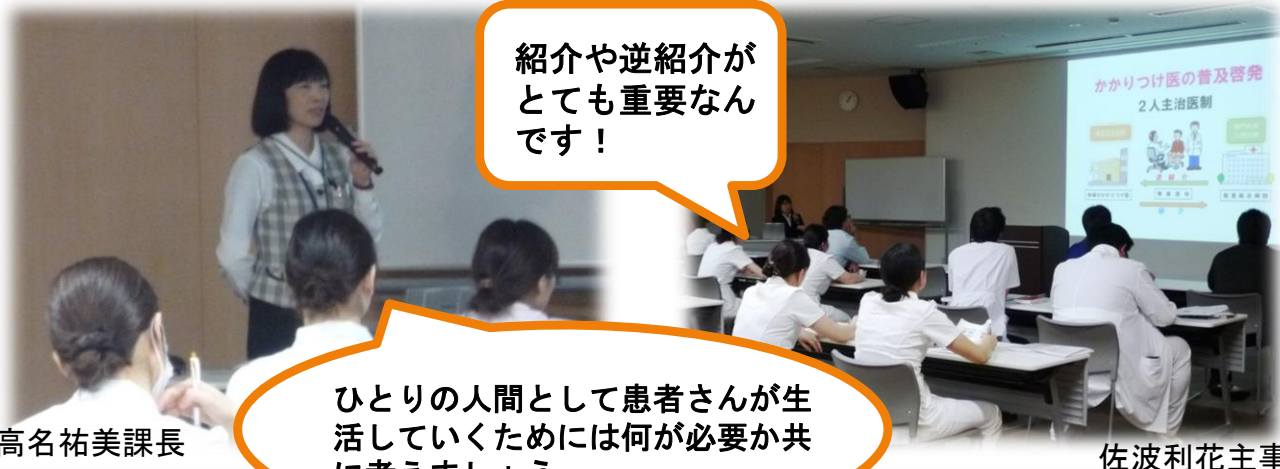
講師：地域医療支援センター 坂本副センター長

紹介や逆紹介が
とても重要な
です！

ひとりの人間として患者さんが生活していくためには何が必要か共に考えましょう

高名祐美課長

佐波利花主事





今春新入メンバーのご紹介

4月より小坂理加看護師が訪問看護係に仲間入りしました。訪問看護師合計5名です。ますますパワフルに活動しています。小坂看護師はこれまでの病棟勤務で看護の技術と経験が見込まれて訪問看護係の一員となりました。身体は大きいですが心は繊細で気配りのできる看護師です。ユーモアたっぷりで表現力も豊かです。訪問看護係に新しい風を吹き込んでくれそうです。(木下)

“ 初めまして ”
どうぞよろしくお願ひします



地域医療支援センター
訪問看護係